

中小・小規模事業者が 成長期に入るための情報発信

中小・小規模事業者の情報発信の本質は「自社の存在や製品やサービスの価値を伝える」ことにあります。そのためには、まず自社の強みや特色を明確に理解し、それを相手に伝わる言葉に置き換え、情報化する必要があります。顧客にとって価値が伝わらない情報は、無意味な存在。顧客が知りたいもの、興味を持つもの、行動につながると思われるものを改めて見つめなおし「情報」へと昇華させることがとても重要になります。

次回開催のサロンは、事業の成長と情報発信について幅広く話し合い、メディア視線から見た情報発信について座長より参加事業者それぞれにアドバイスがあります。書籍やネットなどからでは得られない「気づき」を見つけてください。



座長 永井直樹（千葉日報デジタル）

商工会議所をはじめとした経済団体や業界団体、自治体、金融機関を対象とした情報発信に関するワークショップの専門家アドバイザー。さまざまな業態の事業者支援を行っています。



開催日程

11月15日（水）

11月22日（水）

11月29日（水）

毎回、13時～14時30分となります。

3週連続3回開催になります。

全回出席できる方のご参加を優先させていただきます。

会場 君津商工会議所

参加 先着5事業者限定、1事業者1名

参加費 無料

お申し込み メールにて「SALON参加希望」としてお申し込みください。詳細はやりとりの中でお知らせします。
info@mira-kimi.com

SALONとは

今年度、千葉日报社グループである千葉日報デジタルときみつの未来活力支援センターとで情報発信に係る協定を締結しました。その具体的施策として千葉日報デジタルが座長となり、情報発信をテーマとしたワークショップ「SALON」をスタートさせました。第一弾は「創業者の情報発信」をテーマとし、盛況のうちに終了。第二弾は今回のテーマで開催されます。

会員非会員を問わずどなたでもご参加いただけます。自社の情報発信、販促・営業方法について、お悩み事や課題感をお持ちの方は参加をおすすめします。